

【余暇の充実】

12	寄与度をみると、女性と70歳以上が高いが、この属性の余暇時間が上がったのか下がったのか教えて欲しい。515分から507分に下がり、有意か分からないが、 <u>何が増えたのか。活動時間よりむしろ余暇時間を知りたい。</u>	和川委員	第4回 資料2	第3回
13	補足調査で要因を取っているが、意識調査より高齢者が少ない。現役世代の要因としては正しいと思うが、 <u>高齢の方余暇時間の確保が難しく実感</u> <u>が下がったというのは無理があると思うが、それ以外の要因はあり得るか</u> <u>と思う。</u> まとめ方の問題であると思うので、 <u>本文で注釈を入れるくらいで</u> <u>良いかと思う。</u> 違和感を感じる人もいると思うので、一言入れておくことが現実的。	谷藤委員	意見	
14	前回資料でH28からの推移を載せてもらっているが、70歳以上で見ると、H31がかなり高く、その前はR4とあまり変わらない。H28からH30年の動きを注意しておかなくていいか。入れるとすれば、ただしH28年からの動きをどう入れるか。	山田委員	意見	
15	<u>H28からH30までのデータを削る又は参考で良いのか</u> と思う。当初の発送はずっと低いのは課題。基準年から見るとデータがないので、便宜的にH28から見てきた。ある程度データが蓄積されたのであれば、古いものを見ていく必要はないのではないかというのが一つの理由。削った時と残した時で結果が変わるかという過去は、消しても消さなくてももう変わらない事実なので、 <u>分析としてはあってもなくても変わらないので、削るのが気持ち悪いのであれば参考として入れても結果は変わらない。</u>	和川委員	意見	
16	今年のレポートがどういう位置づけにあるかという、アクションプランの改訂時期であり、第1期の成果を踏まえて策定していくときに、こうしたデータを十分に活用してもらいたいという意味も今年に限ってはあ。そうすると、基準年から4年間のデータがあるが、ずっと3点に届かないのが、要因や背景が難しく、簡単にこれだと明確な分析は難しい。一方で、そのままにしておくことはできないと県側が考えるのであれば、 <u>書き込んでおくことに意味はあるのではないか。</u>	吉野部会長	意見	
17	第2回資料の資料5-2の3枚目で、平均値をとるしかないが、70歳以上が1055人いるのに、60歳以上の無職が680人しかいない。70歳以上でも結構働いている人がいるかもしれない。それをそのままガッチャンコすると何も出てこないのではないか。打ち消してしまうのではないか。 <u>70歳以上で仕事している、していないでソートしてもう一度見せて欲しい。</u>	Tee委員	第4回 資料2	
18	平均すると短時間の労働に見えるが、1000人以上いらっしゃるということであれば、そのうち100人が働いていると全体の10%くらいにしかならないので、私も懸念したところ。 <u>基準年に比べると12分違うので、特定の人たちの仕事時間が増えている可能性はある。</u> その人たちが余暇時間が減っていると感じている可能性はあるが、それを把握できるのか。	谷藤委員	意見	
19	<u>余暇の時間の低下の対象が現役世代の余暇時間が常に低いので、政策的にはそこを確保すべきという政策をもう少し強く打つのか、実は高齢者の余暇時間がおちているので、その充実こそが実は重要な政策課題であって、そこがきちんと手を打っていないと、高齢者の心身の健康あるいは幸福度に十分な反映がされないのではないかと</u> <u>いうこともあって、高齢者も政策的には課題だということであれば、高齢者の中身をもって精査することも必要</u> <u>となる。</u> 一貫して低値は、現役世代であるから、これはこれで大きな課題であるという意見もあるだろう。これをどのように政策に生かすかであるが、高齢者の分析ばかりしても。現役世代が一貫して低値であるということは一地点だけではないということも着目する必要がある。	吉野部会長	意見 提言	

20	60歳以上の無職は684人いるが、この中に70歳以上も含まれるので、逆算すると <b>70歳以上の有職者はかなりの数いる</b> ことになる。ここは吟味して分析してみる必要はあるかもしれない。本当に稼ぎたくて稼いでいる人もいると思うが、そうでない人もかなりの数いるのだとすれば、対策が必要かもしれない。深掘りする価値があるかもしれない。 一貫して低値については、昔のことは今更言っても仕方がないので、もう一回でも3点を <b>超えれば落ちていく項目なので、昨年度も今年度も全く一緒で、これが消えていかないことが問題である。そこを書く必要があるのではない</b> か。低値はなくしていくことが重要なので、そこを書いていく必要がある。	谷藤委員	意見	第3回
21	一貫して低値について、H28ではなく、H31からということになると対象となる <b>項目が増える可能性がある</b> のではないか。	小野政策企画部長	意見	
22	<b>確かに、増えたとすれば意見が替わるかもしれない。</b>	和川委員	意見	
23	データとしてはH28から入れておいた方がいい。これにより、 <b>基準年が特別ではなかったということが一目瞭然</b> なので。分析自体は基準年良いと思う。	竹村委員	意見	
24	<b>特定の属性を掘り下げているので、本文の表現を修正する必要がある</b> のではないか。	和川委員	意見	